健康保険被扶養者（異動）届

令和　7 年　4 月　1 日　提出

記　入　例

裏面の記入方法もご覧ください

記号・番号は
マイナポータルや「資格情報のお知らせ」
で確認できます。分からない場合は事業
所担当者へお問い合わせください。

年	月	日	決裁
務理事	事務長		担当者
健保使用欄			

事業所担当者氏名
（　担当者名　）

被保険者欄												
被保険者等記号・番号	〇〇－　〇〇〇〇	生年月日	昭・平・令	06 年	04 月	04 日	性別	男・女	年収	565万 円	所属名	トーエネック〇〇支店
氏名	（フリガナ）ケンポ　健保	（フリガナ）タロウ（名）太郎	取得年月日	昭・平・令	25 年	04 月	01 日	住民票住所	〒 〇〇〇 － 〇〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目20-31			

被扶養者になった場合は「該当」、被扶養者でなくなった場合は「非該当」、氏名や住所などの変更の場合は「変更」を〇で囲んでください。
初めての扶養認定申請の場合は、事業主の指示に従って、必ず個人番号を届出てください。
（マイナ保険証によるオンライン資格確認ができない状況にある場合は、「資格確認書発行要否欄」の「発行が必要」にチェックし、申請理由番号に〇を付してください。）

被扶養者欄1												
氏名	（フリガナ）ケンポ　健保	（フリガナ）ハナコ（名）花子	個人番号	※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	☑ 個人番号は事業主へ届出済							
			生年月日	昭・平・令	07 年	03 月	03 日	性別	男・女	続柄	長女	
住民票住所	〒 〇〇〇 － 〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目20-31		1.同居 2.別居	海外居住者又は海外から国内に転入した場合は右欄を記入してください。	海外特例要件	海外特例要件該当	理由	1.留学 2.同行家族				
						海外特例要件非該当	理由	1.国内転入（今 2.その他（				
該当	被扶養者になった日	令和	07 年	03 月	03 日	職業	1.無職 2.パート 3.年金受給者 4.小・中学生以下 5.高・大学生（　年生） 6.その他（　）	年収	0 円	理由	1.出生 2.離職 3.収入減 4.同居 5.その他（　）	
非該当 変更	被扶養者でなくなった日	令和	年	月	日	理由	1.死亡 2.就職 3.収入増加 4.後期高齢者 5.その他（　）	備考	変更の場合　内容・理由等を記入	資格確認書発行要否	□ 発行が必要 申請理由 1・2・3・4	

続柄は正確に記入下さい
例）長男、次男、義母　等

申請理由：マイナンバーカードの
1.取得をしていない（返納を含む）
2.健康保険証利用登録をしていない
3.電子証明書の有効期限切れ

被扶養者欄2				
氏名	（フリガナ） （氏）	個人番号	※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	□ 個人番号は事業主へ届出済

【該当　被扶養者になった日】とは
被扶養者としての事実が発生した日以降で認定を希望する日を記入して下さい。
<被扶養者としての事実が発生した日　例>
・離職　→　離職の日の翌日(3月末退職の場合は4月1日）
・結婚し同居を始めた日→同居を始めた日
　原則として住民票で確認できる日付となります。
　入籍しても別居している場合は生計維持の確認が必要です。
・雇用保険受給終了→受給終了日の翌日
　＊明らかな事実発生日がない場合や、正当な理由なく申請が遅れた場合は、申請書類を受理し被扶養者として生計維持されていることが確認できた日を認定日とします。

＜添付書類等＞
「被扶養者認定に必要な証明書類一覧表」をご覧いただき、証明書類の添付をお願いします。

【非該当　被扶養者でなくなった日】とは
<例>
・就職　→　就職日　(4月1日就職の場合は4月1日）
・離婚　→　離婚日の翌日
・雇用保険受給開始→受給開始日
　失業認定日、振込日等が記入されている場合でも、受給開始日に削除します。

＜返却・添付書類等＞
・保険証カード（令和7年12月1日まで）、限度額適用認定証、高齢受給者証など発行済の証をお持ちの場合は返却をお願いします。
・雇用保険受給開始の場合は、「雇用保険受給資格者証（写）」を添付してください。

被保険者の配偶者が被扶養者ではないとき（例：夫婦共働きの場合）は記入してください。	配偶者の年収見込額	250万 円

※被扶養者の「該当」と「非該当（変更）」は同時に提出できません。「該当」、「非該当」、「変更」はそれぞれ別の日…

配偶者以外を扶養に入れる場合で、配偶者が被扶養者でないときは、配偶者の今後一年の見込収入額をご記入ください。

1 この届出は被扶養者に異動が生じたときから5日以内に提出してください。
2 被扶養者になる場合は「被扶養者認定に必要な提出書類一覧表」を参照し、異動日、収入等を証明…
3 被扶養者でなくなった場合、有効な健康保険証・資格証明書が交付されている場合は返却をお願い…

社会保険労務士記入欄

記入方法

○被保険者欄

・被保険者等記号・番号　：資格取得時に払い出しされた被保険者等記号・番号をご記入ください。被保険者資格取得届と同時に提出する場合は記入不要です。

・氏名　：氏名は住民票に登録されているものと同じ氏名を記入してください。

・生年月日　：年号は該当するものを○で囲んでください。

・性別　：該当するものを○で囲んでください。

・年収　：被保険者の今後1年間の年間収入見込額をご記入ください。

・住所　：住民票の住所をご記入ください。

○被扶養者欄

・氏名　：氏名は住民票に登録されているものと同じ氏名を記入してください。

・続柄　：被保険者との続柄を「夫」、「妻」、「長男」、「長女」、「父」、「母」等と記入してください。

・個人番号　：本人確認を行ったうえで、事業主の指示に従い個人番号を届出てください。事業主へ届出後、□に✓し提出下さい。

・住所　：被保険者と同居または別居のいずれかを○で囲み、同居の場合は住所記入は不要です。別居の場合は、住所欄に住民票の住所を、「備考欄」に居所をご記入ください。住民票住所と居所が同じ場合は居所の記入は不要です。なお、海外居住者については、国内における協力者住所（親族、被保険者の勤務先住所等）を方書きも含めてご記入の上、「備考」欄に海外居住先の住所及び国内協力者が親族の場合は氏名及び続柄をご記入ください。

・被扶養者になった日　：被保険者の健康保険加入と同時に提出する場合は「取得年月日」と同日、それ以外の場合は出生年月日等の実際に被扶養者になった日をご記入ください。

・年収　：今後1年間の年間収入見込額をご記入ください。収入には、非課税対象のもの(障害・遺族年金、失業給付等)も含みます。非課税対象の収入がある場合は、受取金額が確認できる書類のコピーを添付の上、「備考」欄に具体的な内容をご記入ください。

・理由　：被扶養者となった理由を○で囲んでください。ただし、『被保険者資格取得届』と同時に提出する場合は記入不要です。

・被扶養者でなくなった日　：死亡による場合は死亡日の翌日を、それ以外の場合は非該当になった当日の日付をご記入ください。

・海外特例要件　：海外特例要件該当・非該当のいずれかを○で囲み、理由をご記入ください。海外特例要件非該当で国内転入の場合は転入した日をご記入ください。

・備考　：被扶養者情報に変更がある場合は、変更の内容とその理由をご記入ください。

・配偶者の年収見込額　：配偶者以外を被扶養者とする場合で、被保険者の配偶者が被扶養者でないときは配偶者の年間収入見込額をご記入ください。これは、配偶者以外の方について、被保険者と配偶者のどちらの被扶養者に認定するのが適正なのかを確認するためです。

・資格確認書の発行要否　：資格確認書の発行が必要な場合（※）は、「発行が必要」の□に✔を、申請理由に○を付してください。

※以下に該当する場合に限ります。

1.マイナンバーカードを取得していない者、マイナンバーカードの返納者

2.マイナンバーカードを保有しているが健康保険証利用登録を行っていない者、利用登録解除を申請した者、利用登録解除者

3.マイナンバーカードの電子証明書の有効期限切れの者

4.マイナ保険証による受診には第三者（介助者）などのサポートが必要